



京都帝國大學
演習林報告第十六號

演習林氣象報告 (第三回)

自 昭和十一年
至 昭和十五年

演習林本部調査係

京都帝國大學農學部附屬演習林

昭和十七年七月

京都帝國大學
演習林報告第十六號

演習林氣象報告

自 昭和十一年
至 昭和十五年

METEOROLOGICAL OBSERVATIONS
IN THE
FORESTRY EXPERIMENT STATIONS
1936—1940

京都帝國大學農學部附屬演習林
昭和十七年七月

京都帝國大學農學部附屬演習林並ニ試驗地ニ所在スル觀測所十二ヶ所ニ於ケル各氣象觀測結果ハ本部調査係ニ於テ氣象年報トシテ每一ヶ年分ヲ取纏メ置キ更ニ之レヲ五箇年毎ニ輯録印刷ニ附スルコトトシ既ニ昭和八年(第一回)昭和十三年(第二回)ヲ刊行セリ。

本篇ハ其ノ第三回報告ニシテ昭和十一年ヨリ昭和十五年ニ至ル五箇年間ノ觀測結果及ビ各地觀測所開設以來昭和十五年迄ノ累年氣象概況ヲ併セ編纂セルモノナリ。

演習林氣象報告 (第三回)

目 次

本部試驗地(京都)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	1
累年本部試驗地氣象概況	12
上賀茂試驗地(京都)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	13
累年上賀茂試驗地氣象概況	24
芦生(京都)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	25
累年芦生氣象概況	36
中山長治谷(京都)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	37
累年中山長治谷氣象概況	48
上溫川(和歌山)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	49
累年上湯川氣象概況	58
泊岸(樺太)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	59
累年泊岸氣象概況	70
咸陽(朝鮮)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	71
累年咸陽氣象概況	82
雲峰(朝鮮)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	83
累年雲峰氣象概況	94
馬川(朝鮮)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	95
累年馬川氣象概況	106
六龜(臺灣)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	107
累年六龜氣象概況	118
扇平(臺灣)觀測所自昭和十一年至昭和十五年	119
累年扇平氣象概況	130
池鯉鮒(臺灣)觀測所自昭和十一年至昭和十三年	131
累年池鯉鮒氣象概況	138
附圖 觀測所一覽圖(一)	
各演習林觀測所附近地形圖(二)	
氣溫及濕度表累年平均(三)	
降水量表累年平均(四)	

緒 言

本報ハ京都帝國大學農學部附屬演習林各地ノ觀測所ニ於ケル昭和十一年ヨリ昭和十五年ニ至ル五ケ年間ノ氣象觀測ノ成績並ニ各觀測所開設以來昭和十五年迄ノ累年氣象概況ヲ編纂シタルモノナリ。

既設觀測所ハ本部試驗地、上賀茂試驗地、和歌山演習林、及ビ樺太演習林ニ於ケル各一箇所、芦生演習林ニ於テ二箇所、朝鮮演習林、臺灣演習林ニ於ケル各三箇所ニシテ計十二箇所アリ。

(次表並ニ附圖参照)

之等ノ觀測所中ニハ其後試驗及學生實習等ノ便宜ノ爲メ芦生演習林中山觀測所ハ長治谷ニ移轉シテ觀測ヲ繼續シ、朝鮮演習林ニ於テハ昭和十五年十一月馬川觀測所ヲ廢止シテ事業上ノ便宜ヨリ白武洞ニ觀測所ヲ新設セリ、又臺灣演習林池鯉鮒觀測所ハ昭和十三年十二月廢止、越テ昭和十四年四月ヨリ昭和十五年七月迄トナニ於テ觀測續行セシモ都合ニヨリ之ヲ一時中止シタレバトナ觀測所ノ分ハ本篇ニハ輯録セズ。

觀 測 所 一 覽 表

番號	觀 測 所 名	所 在 地	北 緯	東 經	海面高	觀測開始年月
1 A	本部試驗地(京都)	京都帝國大學農學部構内	35 02	135 47	60.0 ^m	大正十四年七月
1 B	上賀茂試驗地(京都)	京都市上京區上賀茂本山	35 04	135 45	120.0	昭和三年四月
2 A	芦 生 (京都)	京都府北桑田郡知井村字芦生	35 18	135 43	359.0	大正十四年一月
2 B	中 山 (京都) 長 治 谷	京都府北桑田郡知井村字芦生	35 20	135 46	627.0 640.0	昭和四年五月 昭和十二年十二月
3	上 湯 川(和歌山)	和歌山縣有田郡八幡村字上湯川	34 04	135 30	560.0	昭和八年十一月
4	泊 岸 (樺太)	樺太敷香郡泊岸村泊岸	49 00	142 57	7.0	大正十三年四月
5 A	咸 陽 (朝鮮)	朝鮮慶尙南道咸陽郡席卜面	35 31	127 43	169.0	大正十三年四月
5 B	雲 峰 (朝鮮)	朝鮮全羅北道南原郡雲峰面	35 27	127 32	455.0	昭和五年九月
5 C	馬 川 (朝鮮)	朝鮮慶尙南道咸陽郡馬川面	35 24	127 40	265.0	昭和十年九月
6 A	六 龜 (臺灣)	臺灣高雄州旗山郡六龜庄	23 00	12035.5	251.5	昭和二年六月
6 B	扇 平 (臺灣)	臺灣高雄州旗山郡六龜庄蕃地	22 58	120 37	750.0	昭和四年二月
6 C	池 鯉 鮒 (臺灣)	臺灣高雄州旗山郡六龜庄蕃地	22 57.5	120 38	1364.0	昭和九年七月

観測ノ時刻方法並ビニ記載方等ハ演習林報告第四號演習林氣象報告(第一回)所載ノ京都帝國大學演習林氣象觀測法並ニ氣象月報記載方ニ準據セルモノノ要點ヲ掲グレバ次ノ如シ。

観測ハ午前十時一回トス、但シ天氣雜象ハ全日ニ互ル観測ニヨルモノトス。

氣壓ハ水銀晴雨計ヲ用ヒ示度ハ耗ヲ以テ示ス、本部及ビ上賀茂試験地観測ニテハ溫度更正ノミヲ施シ、泊岸、芦生観測所ニテハ更正ヲ行ハズ、其ノ他ノ観測所ニハ未ダ其ノ設備ヲ缺ク。

溫度ハ攝氏ノ度ニ據リ氷點以下ハ負數ヲ以テ示ス、地溫ノ測定ニハ地表ハ棒狀、深サ 0.3m 迄ハ曲管、2.0m 迄ハ鐵管地中寒暖計ヲ用ヒタリ。

濕度ハ百分比ニシテ乾濕計示度ヨリ氣象常用表ヲ用ヒ算出シタルモノトス。蒸發計及ビ雨量計ハ本邦常用ノモノヲ使用セリ。

風向ハ観測時ニ於ケル目測ニテ八方向ニ別チ平均風向ハ風級 1、軟風以上ノ回數ニヨリテ求メタリ。

日照時數測定ニハじよるだん式日照計ヲ用フ。

電雷日數ハ遠雷ニシテ降雨ヲ伴ハザル場合ヲ除キ、霧、露日數ハ微弱ナルモノヲ含マザル日數トセリ、又雨日數ハ降水量ノ多少ヲ不問雨ノ現象アリタル日數、暴風日數ハ風級 4 以上ニ達シタル日數ナリ。

表中ノ印ハ観測ヲ缺ケルコトヲ示ス。

禁轉載複製等

昭和十八年一月廿五日印刷

昭和十八年一月三十日發行

京都帝國大學農學部附屬演習林

京都市柳馬場三條南入

印刷者 福井松之助

京都市柳馬場三條南入

印刷所 株式會社 似玉堂
(西京 3)

